

# GRRM14 配布システム

GRRM14 では、多くのユーザにご活用いただいている GRRM11 の機能に加え、さらに画期的な機能が追加され、量子化学計算に基づく化学反応および化学構造の探索プログラムとして、他の手法ではまったく手を出せないことにチャレンジしていただく楽しみが飛躍的にひろがります。

GRRM プログラムの基本的な配布手続きは、開発者代表([ohnok@m.tohoku.ac.jp](mailto:ohnok@m.tohoku.ac.jp)) に電子メールでお問い合わせしていただくことからはじまります。(対応可能な計算機につきましては、このページの末尾をご参照ください。)

GRRM プログラムのご利用が許可されてからの手続きは、これまでは個々にバイナリコードをご利用いただくこととして参りましたが、GRRM14 では、以下に示します GRRM 安全管理ソフトを各ユーザにご準備いただいて、ユーザのマシンにインストールしていただくこととなります。

GRRM 安全管理ソフトは、ご利用が許可されていることを随時確認してプログラムをお使いいただくためのもので、ユーザがご使用予定の計算機にインストールしていただいて、GRRM プログラムをご利用いただくものです。

GRRM 安全管理ソフトは、下記の頒布先から、お求めください。GRRM 安全管理ソフトには、開発作成にコストがかかっておりますので、そのコストを各ユーザにご負担いただくことをお願いいたします。

GRRM 安全管理ソフトの頒布価格は、一般ユーザの場合を基本とし、アカデミックの場合や IQCE (量子化学探索研究所) 会員の場合には、割引料金が適用されます。また、ご利用期限は、基本は1年単位となっており、更新に手数料がかかりますが、アカデミックの場合は無期限版のチョイスがあります。なお、ノード数が多数の場合には割引制度があります。詳しくは頒布先ホームページをご覧ください。

<GRRM 安全管理ソフト頒布先 URL>

1. USB 方式の GRRM コントローラ :

[http://www.science-technology.jp/Security\\_Controller.html](http://www.science-technology.jp/Security_Controller.html)

2. オンラインで設置できる GRRM-STlib : (2016. 07. 01 以降利用可)

<http://www.science-technology.jp/STLib.html>

STlib では常時 HTTP 通信でインターネット接続できる環境が必要です。接続できない場合、オプションで認証用機器設定 (有償) を追加するか、1. の USB 方式をご利用下さい。

<対応可能計算機>

ユーザ管理下の Linux マシン。ご利用可能な OS については、上記 GRRM コントローラ頒布先のホームページをご覧ください。